

女性人材リストに登録しませんか



市では、「女性人材リスト」を作成し、登録者を募集しています。男女共同参画推進やまちづくりなど市の施策のさまざまな分野で、あなたの力を生かしてみませんか。

登録対象 次の全てに該当する人

- 市在住の20歳以上の女性
- 市政に関心があり、社会活動や地域の発展に熱意を持って貢献できる人
- 専門的な知識や活動実績のある人、有識(資格)者

あなたの悩み相談しませんか

「熊本県男女共同参画相談室らいふ」は、性別にとられない自由な生き方と人権を尊重した総合相談窓口です。生きづらさ・暴力・人間関係などのあらゆる相談を受け、解決に向けてサポートします。専門的なアドバイスを行う相談機関も紹介。相談は無料。秘密は厳守します。



- 電話相談** 月・木・金・土曜 9時30分～16時
 ※火曜は19時30分まで
- 法律相談** 毎月第3土曜(女性対象・要予約)
 13時～16時(受け付けは15時30分まで)
- 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「面接相談」「ガールズ・サポート」「セルフケア講座」を休止しています。
- 相談・予約** 熊本県男女共同参画相談室らいふ
 ☎096-333-2666 (土曜のみ) ☎096-355-2223

新型コロナウイルス給付金関連の「詐欺」が多発中

現在、多発している給付金関連の詐欺事例を紹介。次の事例を参考に、給付金関連の連絡などには、あらためて注意してください。

事例 見知らぬ若い女性2人が「めいの知人」を名乗り自宅を訪ねてきて、「特別定額給付金の給付申請に必要なので通帳を預かる」と言うので、銀行の通帳とキャッシュカードも見せたところ、そのまま持ち去っていった。(70歳代 女性)

- 他にも、次のような相談が寄せられています。
- 「給付金申請手続きを代行するのでマイナンバーカードを貸して」と電話があった
 - 「給付金の受付番号が届いていない」と電話があり、振込先銀行口座を教えた
 - 郵送で申請した直後に携帯にメッセージが届き、口座番号や暗証番号を入力してしまった
- 相談は **消費生活センター ☎33-8277** へ

令和2年度分(7月～令和3年6月)の国民年金保険料免除・納付猶予申請を受け付けています

収入が少ないときや失業などの影響で保険料を納めることができないときは、本人が申請し承認されると、納付が免除・猶予されます。2年1カ月前の分まで受け付けができます。

- ①免除申請(全額免除・一部免除)**
 本人・配偶者・世帯主それぞれの前年所得が一定額以下の場合や、失業した場合などに、保険料の全額または一部(4分の3、半額、4分の1)が免除される。
- ②納付猶予申請**
 50歳未満で、本人・配偶者それぞれの前年所得が一定額以下の場合に、納付が猶予される。
- ③学生納付特例申請**
 学生で本人の所得が一定以下であれば、家族の所得にかかわらず、納付が猶予される。
- 未納のままにしておく…**
 障害基礎年金や遺族基礎年金、老齢基礎年金が受けられない場合があります。



ひろみち 本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします

教室に入りたい気分 (後編)

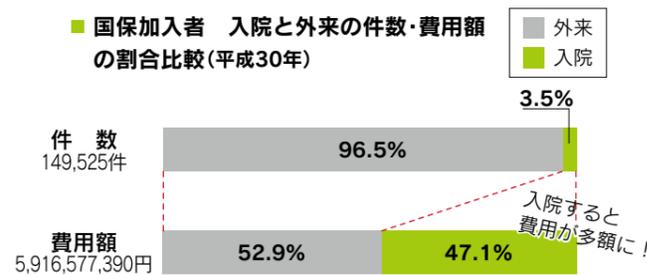
前年から不登校を続け、小学3年生になり、保健室登校を始めたこゆきさん(仮名)。決して教室棟に近付こうとしなかった彼女に転機が訪れました。それはやがて6月に入ろうとする日でした。4・5月生まれの子どもの誕生日会。4月生まれの子ゆきさんは保健室にきた子どもたちに手を引かれ、教室棟に足を踏み込んだのです。やや強引な誘いにちよっとドキドキして見ていた私に、手をつないだ女の子が「自分の誕生日会だけ、来るとは当たり前でしょ！」とアピールしました。子どもたちの進行で、カードのプレゼン、誕生日の子どもたちのスピーチ、そしてゲームと会は盛り上がり、こゆきさんも「大きくなったらペットショップやさんをしてみたいですよ」と自分の夢を語りました。

進んで教室には入らないけれど教室棟という境界線が一つ消え、午後学校にいるようになった7月。「こゆきちゃん、さよならあ」明日も来てねえ！」と帰宅する子どもたちに声を掛けられながら、こゆきさんは廊下の椅子に腰掛けてお迎えを待っていました。そのうち、そこには教室で作品の掲示をする私と、廊下のこゆきさんだけになりました。話し掛けながら仕事をしていたら、いつの間にか彼女が横に立っています。誕生日会以来の入室でした。「こゆきちゃん。今、教室に入りたい気分だろう」と聞くと、笑顔で彼女はうなずきました。それからお母さんが来るまでの時間、一緒に掲示を手伝ってくれました。

感じ方の鋭さゆえに、同じ出来事でもこゆきさんにとっては重たく、体の自由をも奪ってきたのでしょいか。長い期間かかって心の中に積もってきたものから解放されるには同じく長い時間が必要だといえます。不登校の子どもたちが宇城市でも増え続けています。学校で過ごす時間は長い人生の中の一つ。家で過ごすことも受け入れ、人生を楽しみ、生きていければいいのです。行けなくしてしまつたものにも、大人は思いを巡らせながら、子どもたちの自立を応援していきたいですね。

医療費の現状

平成30年度の宇城市の国民健康保険の医療費は総額59億円(歯科を除く)。これを1人当たりになると年間37万円でした。



入院の件数は全体の3.5%しかないのに、費用額全体の約半分を占めてる！入院はお金がたくさんかかるのね～。病気にならないように気を付けよう！



日頃の健診が「健康」と「節税」につながる



脳卒中や心臓病、腎不全などは“予防可能”な病気です。ある日突然、入院・治療が必要にならないように、日頃から特定健診を受けて体の状態を把握し、入院の必要がない段階できちんと治療を受けましょう。健康を維持することが医療費の増加を抑え、さらには国保税を上げないことにつながります。

次号では、国保税を抑えることができるかもしれない「保険者努力支援制度」を紹介します。